

令和7年度 江戸川区立篠崎第二中学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	○ 探求心をもち学ぶ生徒 ○ 礼儀正しく豊かな心をもつ生徒 ○ 健やかな体をもつ生徒	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	「自分を磨き、互いに高めあえる学校」「保護者や地域から信頼される学校」 【あきらめない心をもって 未来を拓く】①自分から進んで学び、対話を通して深く考え、行動することができる生徒 ②自他の命を大切に、仲間を思いやり、人と上手に接することができる生徒 ③「篠二中」や地域を愛し、広い視野をもち、仲間や社会の役に立つことができる生徒 【学び続ける教師】①生徒の気持ちや考えを理解し、対話を大切にしながら、生徒と接することができる教職員 ②生徒が「自己実現のための意欲と行動力」を身に付けるため、生徒の学びを支援できる教職員 ③保護者の願いや社会の期待を自覚し、未来を生きる生徒を育成することができる教職員 ④未来を生きる生徒とともに自己啓発と自己変革に意欲的に取り組むことができる教職員
前年度までの本校の現状	成果 ○ 挨拶指導に重点的に取り組み、適切な対人関係を構築するとともに、生徒の自主性・主体性を取り入れ、教育活動の充実が図られた。 ○ 保護者や地域に教育活動を公開するとともに、連携協力を深め、地域の学校としての機能を発展できた。	課題	○ 発達支持的生徒指導の充実を推進し、学習指導と生徒指導を一体化することで生徒の生きる力を伸ばさせる。 ○ 家庭や地域と連携し、基本的な生活習慣が確立した自己管理能力を身に付けた自立した学習者を育成する。

[illegible]

[illegible]